



2018年9月

第279号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 久保田 貞視  
副会長 花輪 宗命・並木信一  
書記 多河敏子・長谷川あや子  
会計 小口 多津子  
ネット会長 久保田佐和子  
担当主事 中里 敦  
プリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 重子・多河 敏子  
直前会長 小口 多津子

国際会長 Moon Sang Bong (韓国) 主題 “Yes, we can change”  
スローガン “Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」  
アジア地域会長 田中博之(東日本区) 主題 Action 「アクション」  
スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」  
東日本区理事 宮内友弥 (東京武蔵野多摩) 主題: 「為せば、成る」  
副題「ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」  
あずさ部部长 廣瀬 健 (甲府21) 主題「未来はそれを備える人のものである」  
クラブ会長 主題「動こう、動かそう！」副題「変わろう、変えよう！」

### 9月例会プログラム

日時: 9月8日(土) 18:00~20:00

(担当: C班 茂木、大久保、辻、多河、眞野、山本)

会場: 八王子北野事務所2F

受付: 辻、多河

司会: 茂木

開会点鐘 久保田会長

ワイズソング・ 一同

ワイズの信条 一同

ゲスト・ビジターの紹介 久保田会長

聖句・食前の感謝 辻メン

会食

卓話「日航機事故と空挺部隊」

卓話者: 宮地 公平氏(八王子市在住)

東京 YMCA 報告 担当主事 中里

報告・連絡事項 会長・担当者

スマイル報告 大久保

Happy Birthday 久保田会長

閉会点鐘 久保田会長

### 巻頭言

#### 第73回ワイズメン国際大会に出席して

久保田貞視

今回の国際大会は8月9日から12日まで韓国の麗水(ヨス)の世界博会場で開催された。参加者は2,300名で大会場は満席、冷房の無い大空間での大会でした。フラッグセレモニーは64ヶ国の国旗の行進で始まりプログラムは国際大会の開会式マニュアルに沿って進められた。歓迎の挨拶は全羅南道の知事。お祝の言葉は文在寅大統領のビデオメッセージでした。

基調講演は哲学者の金容沃(Young-ork Kim)氏で演題は「私の実践的な改革が世界を変える」としてアナトマン(無我)、キリストの「磔」、孔子の「仁」(道徳)、老子の「虚」から20世紀の戦争の時代を概観し、21世紀に入り、東西冷戦時代は終わったが、各地での紛争は絶えない中、今年に入り突然、韓国の文大統領と北朝鮮の金正恩委員長の対談が実現し南北和解と共に、世界平和に向かっている。ワイズの役割は大きくなる

先月の例会ポイント (8月)		BF ポイント	
在籍	17名	切手 (国内・海外)	35g
メン	13名	累計	158g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	76.4%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	0円
ゲスト	0名	累計	7,420円
ビジター	1名	オークション	0円
ひつじぐも	0名	累計	0円

### 聖句

「常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば、主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」(箴言3章6節)

とワイズメンに対し期待していると結論。彼は日本留学時代に奈良信さんに保護され、大変お世話になり、現在の自分があると、締めくくられた。

IPIP ナイトでは、海辺の大会場で開催され、席上、藤井寛敏ワイズがバレンタイン賞を授与された。「BIG”O”SHOW」では海上噴水ショーでライトアップとウォータースクリーンの映像の美しさと迫りに観客を魅了した。8月10日の西村国際書記長の報告の後、フォーラムでは「ユース事業」に出席。韓国の Daegu Vision Youth Club の紹介が中心で、PAP Rita の報告や私が YIA の例として中大ひつじもとの協働などはフォーラムレポートでは省略された。

エクスカッションは麗水湾をクルーズ、船上でロシアのワイズと再会した。11日(土)は市内の音楽ホールでオーケストラ演奏と著名な歌手の独唱、調理人に扮した出演者が包丁を振り回しての喜劇を鑑賞した。

最終日は EXPO ホールに移り、IYC のレポートに続き、ISG の交替式で、8年間務めた西村ワイズからインド人の新 ISG に引き継がれ、ワイズ歴 50 年の表彰では、東京世田谷クラブの村野ワイズが受賞された。

今回の国際大会を振り返ると人数は韓国勢が圧倒的で、大会は総てスクリーン上も含めハングルで一部英語の通訳は入ったものの韓国人向けとなっており、国際大会と言えない大会でした。プログラムとフォーラムの冊子は立派でしたが参加者名簿もブリテンもなく外国人ワイズには不満もあったようです。

しかし、多くの民族音楽や踊りの披露、BIG”O”SHOW、大型遊覧船への乗船など派手なイベントはそれなりに参加者を楽しませてくれた。また、当クラブからIYCに派遣した須郷君と宮内君に会い、IBCの張弘ご夫妻との再会を楽しんだ。



IBC 張弘ご夫妻と IYC 派遣須郷君を囲んで

### 10月第一例会の予告

10月例会・10月13日(土)6:00～

広瀬あずさ部部長公式訪問日

中央大学学生YMCA(ひつじも)による

中大ナイト(IYC、他の諸活動報告会)

## 東京 YMCA 夏まつり

長谷川あや子

8月25日、東京YMCA夏まつりが東陽町センターで行われました。今年も西東京センターでは焼きとうもろこしを出店いたしました。前日、十勝の中村農場から空輸で東陽町へ。当日はまず大きな寸胴で湯をわかし、皆で皮むきを始めます。同時に焼き用の火をおこしスタンバイ。とうもろこし 30 本位を湯に入れ 12～3 分、茹で上がったものから焼き方に回します。しょうゆを刷毛で塗り香ばしい焼き色がついたら出来上がり。何年もしているうちにだんだん手順も覚え今年は仕事がかどりました。11時半オープニングセレモニー、ジャズ演奏を楽しんで頂いた後、お客様は生ビール、海鮮焼きや焼きそば、お好み焼きなどのお店が並んだ会場へ移動、わがトウモロコシ売り場「美味しい十勝のとうもろこしはいかがですか」と声を張り上げました。十勝のとうもろこしは評判もよく売り上げは上々、午後 2 時には完売いたしました。東京武蔵野多摩、東京八王子、東京多摩みなみの各クラブが協力しましたが、日本語学校の生徒さん、西東京センターさくらの生徒さんも手伝って下さいました。八王子から初参加の花輪さんが焼き方の助っ人もして下さり嬉しいことでした。来年は是非大勢で参加いたしましょう。



## 直前会長とメネット会長感謝会のこと

小口多津子

8月に北野駅前のお店・ファインでの恒例の直前会長と直前メネット会長感謝会が持たれました。皆さんとの美味しかったワインの乾杯で1年間の疲れがすっかり取れました。記念品の図書券もありがとうございました。八王子クラブの独特の夏の行事の暑気払い、会長感謝会といっても、感謝したいのは私の方です、メンバーのお支えがあつての1年間でした。この1年いつもねぎらって頂き、励ましが嬉しかったです。

会長はどこのクラブでもそうですが、やはり外に出るとクラブを背負っている意識にさせられます。出席者名簿で会長と付けられていると、緊張も一段上に背中がピンと伸びてしまいます。

でも1年間終わってみると、私には何と豊かな1年間だったことかと改めて思いました。

いろいろな会の出席でワイズの全体に触れ、その中で八王子クラブを見つめていく、会長の仕事を一言でいうとそれに

尽きると思いました。そのことでは、クラブの中身を広げることがいつも頭にあっただけですが、それは決して、進展がなかったもどかしさ、それが心残りとなりました。

6月東日本区大会で八王子クラブがクラブ優秀賞を頂いたことは、本当に驚きでした。

これは、この1年間のことではなく、これまでの積み重ねの八王子クラブへの賞状でした。それから、区ユース事業でここ十何年なかった、STEP生として台湾へひつじぐもからの須郷君の4カ月ほどの派遣が思い出として残っております。久保田さんのお蔭で先方の受け入れ先IBCの高雄・港クラブ代表トム・チャンさんとの連絡がスムーズで、全てを歓迎して頂きました。トムさんの心の広いお人柄に今さらながら感謝しています。

また、20年間のDBCである大阪セントラルクラブのワイズ解散は寂しい思いがしましたが、メンバーがそのまま大阪YMCAの日本語学校留学生支援をサポートで残られることで、こういう形もあるのかと考えさせられました。また、素晴らしい仲間だった橋本秀昌さんが亡くなられて、この悲しさはクラブ全体に今でも響いております。

### 甲府21クラブ「ぶどう棚納涼例会」のこと

小口多津子

8月26日(日)に山梨市にある一古園にて、甲府21クラブの例会に、長谷川さんと二人で参加してきました。観光バスが何台も止まっている大きなぶどう園でした。ぶどう棚の下は四方からの山の涼しい風によって、ワイズソングが流れて、どこにもない別格の例会でした。司会は昨年入会された米長さん、野々垣会長の挨拶に、ワイズ卓話の佐藤さんという顔ぶれで始まって、美味しいワインとBBQを囲んで一緒に甲府21クラブの元気さを体ごと感じて楽しい例会でした。この7月に4名の入会者があつたばかり、やはり、新しいかたが入るとガラリとクラブが元気になることを実感しました。今年度の広瀬部長の甲府21クラブは特徴を一つあげると、メンバーの皆さん、声がひときわ大きいですね。しっかり伝える話し方は例会がいつも元気である源ですね。勉強しました。帰りの山梨市から八王子駅まで「かいじ」で約1時間、美しい夕日に癒されました。

## 中大ひつじぐも便り

### 中央大学 YMCA/ひつじぐも 3年 宮内蒼也

8月5日から13日まで、IYC2018に参加させていただきました。まず、推薦していただき、本当にありがとうございました。非常にかげがえのない経験と友人を得ることができました。

IYCを通して、私には2名のBestFriendができました。この2人がいなかったら私はIYCを楽しむことはできなかったであろうと確信しています。この場をお借りして推薦していただいたみなさんには、ぜひとも2名のBestFriendを紹介させていただきたいと思います。

まず1人目は、ルームメイトだった韓国人の参加者です。彼とは大会期間中に一緒にご飯を食べたり休憩時間に色々な話を話したりしました。ホームグループが一緒ではなかったものの、彼自身についても私自身についても多くのことをお互いに話すことができました。彼自身が日本が大好きであるということもあり、彼とはまた再び韓国か日本かどちらかで会うことを約束しました。IYC2018という大会に偶然にも同じタイミングで参加した人と、IYCではない場所でまた会うことができるのは、とてもうれしいことだし、間違いなく私にとって財産であると思います。

そして2人目は、同じひつじぐもの須郷さんです。カルチャーナイトの時、須郷さんと一緒に前日の夜遅くまでパワーポイントを作り、結果としてそのカルチャーナイトが他の参加者との距離を大きく縮めてくれました。学生YMCAの先輩と後輩であるにも関わらず、自分のことをためらいなくBestFriendと呼んでくれる須郷さんの存在には、期間中に何度も助けられました。

以上の2名の親友のおかげで私はIYCを心から楽しむことができました。本当に偶然に、この大会を共に過ごすことができた人たち、経験できたこと、すべて私の糧としてこれからの人生で培っていかうと思います。そして、何よりもこのような経験ができたのは、推薦して下さった八王子ワイズメンズクラブの皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

### お話

何時もいい聖句を送って下さる方のもので。ところが今回どうしたわけか、引用箇所名、章・節までも間違っていました。めったにそのようなことは起こりえないはずですが、思わざる齟齬があつたのでしょう。

聖書と共に生活されている真面目な方は、実によく聖句を暗記しておられて驚かされることあります。時には聖書の頁まですらっと出てくるほど自分の聖書を読み込んでいる人もあります。

東京Yの朝禱会では必ず初めに皆で「主の祈り」を大きな声で唱えますが、以前出席したら、なんとそれは文語訳でした。

若い頃、私が読み始めた聖書は文語訳でしたが、その後口語訳が、その次に新共同訳が出、そしてこの10月あたりに更に新しい訳の聖書が出るそうです。聖書の研究がされるのはいいことですが、一般の信者はその度に新しい訳本を買われることとなります。

ドイツではいまだにルター訳が用いられているようですが、どちらが信徒達に親切なんでしょうか。

報 告

8月25日(土) PM6:00~7:00

8月第2例会報告

出席者:敬称略...久保田会長・小口・中塚・花輪・福田・茂木・望月・山本・多河の9名。

以下会長提案

- ①西日本豪雨への寄付金...10月13日(土)の第一例会(中大ナイト)のスマイルを原資に1万円以上を寄付する。
- ②チャリティーラン...9月23日(日)木場公園・サポート・久保田、小口、長谷川、並木 4名
- ③次々期の理事...宮内理事(現在)⇒次期十勝クラブの山田敏明様⇒次々期東京武蔵野多摩クラブの板村哲也様
- ④十勝のじゃがいもとかぼちゃは諸事情により今回は注文するのを中止。
- ⑤国際(協力)街頭募金活動(9月15・土)13時~17時...クラブとしては参加しないが、希望者は自由参加。
- ⑥阿部志郎先生の本の普及と活力支援の会(横須賀学の会事務局)...出版したので希望の方は買いましょう。
- ⑦9月8日(土)第一例会の卓話者...宮地公平氏(山本ワイズ友人・国防問題)
- ⑧来年は八王子クラブの25周年...30年まで待てないので何らかの形で記念例会を開催したい。まだ先ですが、早めに検討しましょう。25周年誌作成もあり。
- ⑨20回で大阪セントラルクラブとの交流が無くなって残念。何らかの代替案はないでしょうか。
- ⑩クリスマス例会...C班担当(セミナーハウスに予約する...予約者・多河)
- ⑪チャリティーコンサート...奈良原繭里さんをお願いする。

\*奈良原さんのコンサート 日時:2018・9・14日(金)18時  
 開場・19時開演(いちょうホールにて)  
 希望の方は会長まで。(今のところ久保田会長・山本さん・福田さんと友人2名が希望)

絹の道デイサービスセンター ボランティア活動

【予定】9月28日(金)14:00~15:00 ペーパーフラワー

\*BF2018年8月報告 プルタブ報告

切手: 国内 35g  
 海外 0g 累計 158g

プルタブ 4.4kg 累計 5.5kg

9月の誕生者

大久保 重子さん 9月12日  
 大久保 清さん 9月20日  
 仲田 達男さん 9月22日

高尾わくわくヴィレッジ 9月号

所長 古市 健

今年は実に暑くそして長い夏でありました。気温が35度を超える日が幾日もあり、体育館や野外で活動しているお客様が熱中症で倒れたりしないだろうかと心配しながら日々を過ごして参りました。やはり小さなお子様方を中心に、活動中に気分を悪くされフロントに助けを求めに来る方々が少数いらっしゃいました。その際には保健室を開放したり、アイスノンを提供したりとスタッフが適切な対応をした甲斐もあり、重症化して救急車搬送まで至るお客様は一人もいらっしゃいませんでした。今後もしばらくは厳しい残暑が続くものと思われます。引き続き、お客様の安全に配慮してまいります。

さて、当館の最も繁忙期に当たるこの8月も、宿泊者数が4,000人を優に超え、大変に多くのお客様にご来館いただくことができました。青少年のスポーツ活動、各種法人などが主催して開催される子ども達のキャンプや、大人たちのサークル活動やご家族ご親戚の集まりまで、幅広いお客様が当館で様々な活動をなさっておりまして。この夏の当館での思い出が、皆さまのそれぞれの楽しい夏の思い出となることを願って止まませぬ。

また、今年の8月も東京都と当館主催の社会教育事業(キャンプ)を3本、無事に終わらせることができました。ゲリラ豪雨や雷の影響を受けたキャンプもありましたが、担当スタッフがボランティアリーダーの力を借りながら適切に対処し、無事に全日程を大事無く過ごすことができ、笑顔で子ども達を保護者のもとに帰すことができました。秋、冬にもキャンプは控えておりますので、引き続き安心安全で思い出に残るキャンプを運営できるよう、準備を進めてまいります。

夏のキャンプスナップ



ブリテン編集委員

山本英次・茂木稔・大久保重子・多河敏子  
<http://ys-east.jimdo.com/bulletin/tokyohachioji/>